

## ■ 第24回参議院選挙結果

6月22日公示、7月10日投開票の参議院選挙では、今回から18歳以上の人たちに選挙権が与えられ、新たに240万人もの若者の意見が反映される選挙となりました。

JVCシニアクラブでは、JAMが組織内候補として比例区代表に擁立した「藤川しんいち」さんの当選に向けて支援をしてきましたが、結果は112,995票を集めながらも当選を果たすことができませんでした。ご支援いただきました皆様、ありがとうございました。

民進党比例区としてはあと2人の枠を確保できれば・・・というところでしたが、6年前に2期目の当選を果たした「津田やたろう」候補が集めた14万3千票余には遠く及びませんでした。もっともそのときの参院比例代表選では民主党(当時)の候補は10万票余でも当選していました。今回の選挙では追い風も無かったし、選挙区で野党協力がうたわれながらも、比例区においてはその効果は期待できませんでした。民進党を支持する連合内の組織間協力も、もっとうまく図られるべきであったと思います。

選挙権が18歳以上に与えられたことにより、若者の政治に対する意識も高まったようです。これからは一層、多くの世代の意見が集約され、政策が推進されていかなければなりません。高齢化が進む中で、若者たちが将来に夢を持てる国づくりを期待しましょう。

津田やたろう前議員が2期12年にわたって取り組んできた、「ものづくり、人づくり、国づくり」がこれからも国の政策運営・推進にどう反映されていくのか注視していきましょう。

## ■トピックス：英国のEU離脱

イギリスのEU離脱是非を問う国民投票が6月23日に実施され、残留支持が48%、離脱支持52%と、離脱支持側の僅差での勝利となり、法改正などを含め、今後その手続きを進めていくことになりました。

投票率は約72%と、国民の関心はかなり高いものでしたが、国が抱える諸問題に対する地域差、老若年齢差による将来の英国を見据えた意識の差が選挙の結果を大きく左右させるものとなったようです。



この結果は、世界中に及ぼす諸影響をもたらし、日本の通貨、円も一気に円高となって株安、国内景気の影響へも大きく懸念される状態となってしまいました。

当の英国でもまさかの結果に、英国そのものの分裂をもたらす恐れも出かねず、国民投票の再実施を望む声も大きくあつたようです。

中東地域の政情不安から生ずる政治難民、アフリカの貧困から生ずる経済難民が一気にヨーロッパに流入して、EUとしてはその対応に苦慮している中での国民投票で、英国国民の意識はそれに強く影響されたものといえるでしょう。

現在の諸国間のグローバルな関係は、この直面する一問題だけに目を向けていられないことを強く認識したに違いありません。

人それぞれに自分中心に物事を考えるのは自然なことでしょうが、政治というものは、それを如何にうまくとり纏めていくのか、が大切であると感じさせられました。

## ■ リオ五輪 日本選手の大活躍（天晴れの銀）

2016年8月5日夜（日本時間6日朝）開会された、南米初のブラジル・リオデジャネイロオリンピックは、連日の熱戦が繰り広げられ、8月21日夜（日本時間22日朝）閉会式を迎えました。

オリンピックは「参加することに意義がある」とは、近代オリンピックの基礎を築いたクーベルタン男爵の言葉ですが、選手自身もそしてその結果を見守る国民全体が期待するのはメダル獲得と言っても過言ではないでしょう。



日本選手団が獲得したメダルの数は金・銀・銅あわせて41個と過去最多となりました。

特に金メダルは12個で、選手たちの喜びの顔が印象的でした。一方で、銀・銅メダルとなって悔しがる選手もいましたが、それぞれ、その結果を誇りとすべきで、全員に「天晴れ！」を送りたいと思います。

その中で、陸上男子400mリレーの銀メダルは「天下一品の天晴れ」ではなかったでしょうか。100m10秒台の4人の選手が、9秒台の選手をそろえたチームと勝負して堂々の2位に輝きました。ジャマイカのボルト選手とのアンカー勝負にはさすがに敵わなかったにせよ、4人の選手のチームワークと訓練に訓練を重ねてきたバトンタッチの技など、日本選手らしさが十分に発揮された結果といえるでしょう。

ケンブリッジ・飛鳥選手がゴールに飛び込むところは手に汗握るテレビ観戦でした。

水に、床に、陸上にと日本選手団は本当に良く戦った17日間でした。日本のお家芸といわれた体操や柔道が復活し、常勝軍団のレスリングが大健闘する中で、日本初のメダルとなったカヌーや競歩、96年ぶりのメダルとなったテニスなど、新たな分野でも日本選手の活躍がみられました。

今回メダルを取った選手へのインタビューでは、皆が「次は東京、良い色のメダルを目指して頑張る！」と、答えていました。

閉会式で5輪旗は小池都知事に引き継がれました。4年後の東京オリンピックに向けて、着々と準備が進められることでしょう。今回活躍した選手たちの更なる努力と共に、また新たな強力な選手の登場が期待されます。



## ■ 事務局から

(1) この一年、会員数は240名台を維持してきました。その中で、本部・支部の行事に一度以上参加された方は111名となります。行事回数は本部、支部合わせて10回（地方 JAMなどの上部団体主催行事を含まず）で、延べ260名の参加実績となりました。

「平成28年度活動の記録」を同封しましたのでご覧ください。シニアクラブのホームページでもご覧いただけます。このページを是非「お気に入り」に登録してご覧ください。

一度も行事にご参加いただけていない方も多くいらっしゃいます。シニアクラブは新年度の活動に入りました。今後の諸行事に是非ご参加いただき、交流の輪を広げてください。

(2) 総会案内 年会費納入のお願い（同封の別紙をご参照ください）

10月7日（金）開催の総会案内を別紙にて同封しました。第15回という節目の総会です。多くの皆様にご参加いただいて、総会・懇親会を意義あるものにしていただきたいと思います。尚、同封の返信はがきの投函とともに、同封の振込用紙による年会費のお振り込みもよろしくお願いたします。（振り込み手数料は本部負担となっています）

事務局長 田代 周